

# こくたいと地域をつなぐお手伝い TEAM防災ジャパン

中川和之

内閣府 TEAM防災ジャパン アドバイザー

元中央防災会議災害被害を軽減する国民運動専門調査会専門委員

元時事通信社解説委員、元日本ジオパーク委員会委員

元日本地震学会理事、静岡大学防災総合センター客員教授

郷里(阪神間)の地震で防災啓発に目覚めた元科学記者

## ジオパークや学会通じて啓発活動 地域のボーイスカウト活動から現地ボラも



2010年

郷里(阪神間)の地震で防災啓発に目覚めた元科学記者

# ジオパークや学会通じて啓発活動 地域のボーイスカウト活動から現地ボラも

丹後半島・天橋立（地震火山こどもサマースクール）



2019年

17:07

17:08

17:11

17:11



運営:内閣府政策統括官（防災担当）  
協力:防災推進協議会

## TEAM防災ジャパンとは？

TEAM防災ジャパンとは、防災に関するあらゆる情報が集約されたポータルサイトです。全国各地で行われている防災イベントの紹介、防災に関連するニュースの提供を行うほか、様々な団体が作成している防災に関する資料などを集約しています。



<https://bosaijapan.jp/>

加藤 孝明 (東京大学生産技術研究所)

2015.03.17



中川和之(なかがわかずゆき)

寺事通信社解説委員、静岡大学防災総合センター客員教授

主な活動地域：  
東京都 全域

最近の防災・減災活動：

生年月日：1956年1月生まれ

出身地：岐阜県大垣生まれ、

兵庫県芦屋市育ち、横浜市在

震災後の山形支局勤務でチ

ム東北の一員を自認

近の地域防災・減災活動：消

防庁編集の市町村長対象の危機

管理研修資料作成をお手伝い。

阪神大震災がきっかけに始まった国民運動から発展



bosaijapan.jp



# 災害被害を軽減する国民運動

## 災害被害を軽減する国民運動の推進に関する基本方針

平成18年4月21日中央防災会議決定（中略）

これまで、防災への取組は、ともすれば専門家や防災担当者に任せて行うものと考えられていたが、最近、様々な主体の連携による新しい取組の萌芽が見られる。国民運動の展開に当たっては、防災活動へのより広い層の参加を確保し、参加者に正しい知識を分かりやすく提供することが必要である。さらに、防災知識を身につけ、防災意識を持った参加者が、企業や家庭において防災のための投資を促進し、幅広いネットワークを組織することが必要である。

このような取組を、国民一人一人、各界各層において、息長く続けていかなければならない。

The screenshot shows the homepage of the 'Disaster Relief National Movement' website. At the top left is the logo of the Cabinet Office, Government of Japan. The main title is '災害被害を軽減する国民運動のページ'. Below the title is a search bar with 'サイト内検索' and a 'Google検索' button. A left-hand navigation menu lists various sections: ホーム, 災害被害を軽減する国民運動, 減災のてびき, 一日前プロジェクト, ぼうさいカフェ, 減災への取組, 災害の記録, 学ぶ, 情報リンク集, and イベントの紹介. The main content area features a large heading '災害被害を軽減する国民運動とは?' followed by explanatory text about natural disasters and the movement's goals. Below the text is a colorful illustration of a diverse group of people (a woman, a man, a child, an elderly woman, and an elderly man) standing in front of a house. At the bottom, there is a call to action for the disaster relief dial '171' and a note that the page will be updated.

内閣府  
Cabinet Office, Government of Japan

災害被害を軽減する国民運動のページ

サイト内検索 Google検索

ホーム

災害被害を軽減する国民運動

減災のてびき

一日前プロジェクト

ぼうさいカフェ

減災への取組

災害の記録

学ぶ

情報リンク集

イベントの紹介

### 災害被害を軽減する国民運動とは？

地震、津波、台風など自然災害は思わぬときにやってきます。災害をなくすことはできませんが、被害を少しでも減らすことは今からでも取り組むことができます。

この国民運動は、皆さん一人ひとりが日頃から具体的な行動（事前の備え）に着手することによって、安全で安心して暮らしてゆける社会をつくってゆこうという運動です。

まず、普段からできることから取り組んでみましょう。この小さな取組が災害からあなたを守ります。

あなたの無事を伝えましょう  
災害用伝言ダイヤル **171**  
(社) 電気通信事業者協会


この国民運動のページは、今後も引き続き充実してまいります。



## 阪神大震災からの最大課題の耐震化 総理の前で実演した福和さんと専門委員に



2006年4月中央防災会議



## 基本方針は作られたものの… (その後は当時の専門委員が粘り強く)

### 1. 防災(減災)活動へのより広い層の参加(マスの拡大)

(1) 地域に根ざした団体における身近な防災への取組、(2) 予防的な取組を加味した防災訓練の工夫、(3) 地域における耐震補強の取組の面的な広がりの推進、(4) 防災教育の充実、(5) トップから一人一人まで参加者への動機づけ

### 2. 正しい知識を魅力的な形でわかりやすく提供(良いコンテンツを開発)

(1) 多様な媒体の活用による防災教育メニューの充実、(2) 災害をイメージする能力を高めるための質の高い防災教育コンテンツの充実、(3) 災害のリスクや対策等に関する情報の作成、公開、周知の徹底  
→(2)の成果として、文科省の助成事業で釜石の防災教育が実現



### 3.企業や家庭等における安全への投資の促進(投資のインセンティブ)

- (1)企業や家庭等における安全への投資の促進、(2)ビジネス街、商店街における防災意識の醸成、(3)事業継続計画(BCP)への取組の促進

### 4.より幅広い連携の促進(様々な組織が参加するネットワーク)

- (1)企業と地域社会の連携、(2)様々な主体が連携した地域における防災教育の推進、(3)災害に関する情報のワンストップサービス、(4)防災ボランティアの地域社会との積極的な連携

### 5.国民一人一人、各界各層における具体的行動の継続的な実践(息の長い活動)

- (1)国民運動の継続的な推進枠組みの形成、(2)地域における防災活動の継続的な推進の枠組み作りの促進、(3)防災活動の優良な実践例の表彰、(4)人材育成のためのプログラムの開発、(5)インセンティブの拡大の検討

## TEAM防災日本の概要



- TEAM防災日本は、内閣府と協力して、全国各地で活躍する多様な防災の担い手を育成・応援するための人材ネットワーク。防災の担い手にとって有用なコミュニティや企業等による共助の防災活動等に関する情報をポータルサイトやSNS等で紹介。オンラインも活用して参加者の交流・情報交換を促進。
- ぼうさいこくたいでは、内閣府と連携して、出展者等の交流や情報交換を図るための「大交流会」等を開催。

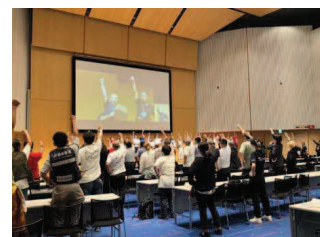
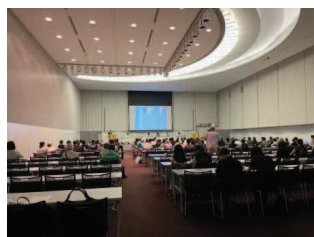
### ポータルサイト



<https://bousaisaijapan.jp/>  
メールマガジン・SNS

### ぼうさいこくたいでの多様な防災の担い手との交流

- ぼうさいこくたい2025での「大交流会」の開催  
ぼうさいこくたい2025において、内閣府と連携して、出展者等が交流や情報交換を行うための「大交流会」を開催し、127団体が現地参加。
- ぼうさいこくたい2025での「オリジナルセッション」の開催  
ぼうさいこくたい2025では、下記のテーマによる「オリジナルセッション」を開催。ジェンダー視点の被災者支援の意義と実際  
～男女共同参画センターの活動及び多様な主体の連携の視点から考える～



### いくつもの顔を持つ アドバイザー

- 鍵屋 一 (跡見学園女子大学教授)
- 中川 和之 (時事通信社客員解説委員)
- 福和 伸夫 (名古屋大学名誉教授)
- 加藤 孝明 (東京大学教授)
- 浅野 幸子 (減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)
- 阪本 真由美 (兵庫県立大学教授)
- 白田 裕一郎 (防災科学技術研究所)

- 全国の防災の担い手に向けて、コミュニティや企業等による共助による防災活動等に関する情報を定期的に発信するメールマガジンを発行 (登録者: 約1,300人)
- SNS (Facebook、Twitter) でもセレクトした情報を発信。

+20人のお世話係  
各界各層へのつなぎ役  
産(3+2)、官(4+1)  
学(8+3)、民(5+3)

まだ実現できていないことばかりですが

## TEAM防災日本のミッション

- ❖ 多様な担い手の人たちが、日ごろから必要としている情報を整理してストックしておく情報ストックヤードになることで、欲しい情報を見つけやすい。
- ❖ 現場を知らながら情報感度の高い人、情報集めが得意な人の知的作業の結果を共有することで、テーマや地域特性に合わせて理解することが出来る
- ❖ 各省庁、各自治体縦割りの中で、つなげて理解することができ、それぞれの担い手がアンテナを張りやすい。
- ❖ 制度政策の情報、現場の取り組みの情報、災害時の経験の情報、多様な現場の人の情報がつながった知恵の輪となりたい。

情報武装された地域防災の担い手の確立

## TBJスタート翌年からぼうさいこくたい

- ❖ 国土庁防災局(当時) + 政令市消防 + 防災推進協議会（業界団体）で毎年、政令市を巡回していた政府の「防災フェア」のアップデート。

消防のショーから、みんなのフェスタへ



# 1. 防災推進国民大会2019



国民の防災意識向上のため、我が国の防災に関する活動を行う多様な団体・機関が一室に集い「防災推進国民大会2019」を実施。

## 2019年度 開催概要

【テーマ】大規模災害に備える

「まなぶ、つながる、つよくなる」  
『防災を、もっと日常に』

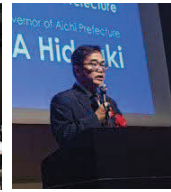
- ・日時：2019年10月19日(土)～20日(日)
- ・場所：名古屋市ささしまライブエリア
- ・主催：内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議
- ・同時開催：愛知県、名古屋市主催  
「あいち・なごや防災フェスタ」

- ・実績：(1) 来場者数 **約15,000人**  
(2) 出展数 **211団体**  
内訳：セッション：28、ワークショップ：43、ブース：66、  
ホースター：30、テントブース：33、屋外展示：11

- ・アンケート結果：防災意識が向上した 98%



オープニングセッション  
武田大臣より開会ビデオメッセージ



大村知事より  
開催地挨拶



河村市長より  
開催地挨拶



ハイレベルセッション  
平副大臣より冒頭メッセージ



クロージングセッション  
今井政務官より閉会メッセージ



大塚議長より  
主催者挨拶



秋本副議長より  
主催者挨拶

## 開催期間中に実施した台風19号等の被災地支援内容

### ○ ボランティア連携強化のための緊急連絡会を実施

台風19号等への支援として、JVOAD等と連携し、緊急連絡会※を実施し、防災・災害・災害対応情報の共有や、ボランティア等の被災地支援への参画を呼び掛け。

※19日の午前、夕方、20日の3回実施

### ○ ブースにて被災地への義援金を呼びかけ

日本赤十字社、中央共同募金会等にて義援金の呼びかけ



## 当日の様子



# 防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）2025開催概要



## 大会趣旨・大会テーマ

【大会趣旨】「自助・共助」、「多様な主体の連携」及び「地域における防災力の向上」を促進するため、国民の防災意識の向上、災害に関する知識や経験等の共有、防災に取り組む方々の連携構築を図る。

【大会テーマ】語り合い・支え合い ～新潟からオールジャパンで進める防災・減災～

【大会概要】(日時)2025年9月6日(土)・7日(日)

(会場)朱鷺メッセコンベンションセンター(新潟市)

(実績)出展団体数:約470団体、現地来場者数:約1万9千人

※愛子内親王殿下が9月7日(日)に御臨席され、ボランティア関係2セッションを御聴講

(御聴講セッション)「災害福祉支援 ～令和6年能登半島地震の取り組みと課題、今後の展望～」(主催団体:災害福祉支援ネットワーク中央センター)  
「能登半島地震の事例から、支援で目指す姿を考える」(主催団体:全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD))



## 内閣府主催セッション

オープニングセッション ・主催者(坂井大臣、清家議長)による挨拶 等

ハイレベルセッション ・学識経験者や地元関係者によるパネルディスカッション  
(テーマ:中越地震等と復興・災害への備え)

クロージングセッション ・地元高校生登壇の特別企画 ・主催者(鳩山副大臣、秋本副議長)による挨拶 等

## 他のプログラム例

### ○セッション

特定のテーマについて有識者等が議論

### ○ワークショップ

カードゲームや、ボードゲーム、かるた等、来場者に参加いただき、楽しく防災を学んでいただくプログラムを実施



セッションの様子



ワークショップの様子

### ○屋外展示(テント・車両)

災害用トイレや、災害医療トレーラー、キャンピングカー、地震体験車、救助関係車両等を展示



車両展示

### ○ブース展示・パネル展示

各団体等の活動をブースやパネルで紹介

### ○オリジナル企画

出展タイプに拘らない自由な出展形態



ブース展示

事情通だからこそ、いろんなスキマを埋めてつなげる係がTBJ

## 毎回のこくたいで、いろんな役割

- ❖ 第2回仙台では「欲しいテーマの出展がないから」という内閣府リクエスト（むちゃぶり）に応える。第3回東京で「こくたい案内」を、第4回名古屋では民間企業、各社の下至作業に全面的協島、の広、コナ、携会、議、ア。初編として「祝と山衣有阿工の「八又流云」の進行係。
- ❖ いまや日本最大のぼうさい仲間の同窓会  
政府や大企業も町内会も同じサイズで出展  
全国各地各層の「本気の事前防災」(防災庁)を支える大事な場
- ❖ 今年のミッションは、出展者同士がもっとつながれるこくたいに。「活動自慢」から、「学び合い、共創」のステージへ。  
(もう一つは「鳥取県の防災ってすごい！」の共有かも)



鳥取の皆さんが、  
全国の防災仲間と繋がって  
元気になる場がぼうさいこくたい

TEAM防災ジャパンに  
お手伝いさせてください